

科目名	臨地実習Ⅲ(公衆栄養)					開講 キャンパス	神 埼
担当者	堀 田 徳 子・船 元 智 子						
開講年次	4	開講期	前期	単位数	1	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	保健所又は市町村等の実習現場において、地域保健活動の一翼を担う公衆栄養活動がどのように具体的かつ効果的に展開されているのか、その中で管理栄養士は他職種、関係団体、地域住民組織等とどのように連携・協働しながら事業を進めているのかなど、公衆栄養マネジメントに関する一連の実践活動を円滑に体験できるように支援する。						
授業の 到達目標	①具体的な目標を持って実習に取り組むことができる。 ②保健所、保健センターの役割・業務の概要を説明できる。 ③地域の健康・栄養に関する実態把握や評価のための各種統計データを読み取ることができる。 ④生活習慣病やハイリスク児・者に関連した基本的臨床検査データを読み取ることができる。 ⑤地域住民の健康・福祉・食育等に係る業務内容とその中で管理栄養士の役割を説明できる。 ⑥他職種、関係団体、地域住民組織との連携・協働による事業展開が説明できる。 ⑦地域住民を対象とした健康教育・相談等の企画、実施、評価等の一連のプロセスとその方法を概説できる。 ⑧健康教育・相談に活用する効果的な指導教材を提案でき、実習現場で活用できる。 ⑨実習で体験した管理栄養士の職務について、課題や理想とする姿を文書で提案できる。						
学習方法	学外実習						
テキスト及 び参考書等	実習ノート						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等							
宿題・授業外レポート	◎	◎	◎	◎		25	
授業態度	◎	◎	◎	◎		75	
受講者の発表							
授業への参加度							
その他	実習前の課題、実習施設からの評価、実習記録の内容等から総合的に評価する。						
合計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画(学習内容・キーワードとスケジュール)							
	単位は、1週間の学外実習で修得する。 (事前に行うこと) ・オリエンテーション ・事前学習、実習の課題検討 ・実習先訪問、事前挨拶(集中講義)、 (実習中に行うこと) ・地域の健康・栄養状況の把握 ・ライフステージや専門性に対応した健康教育 健康相談の実施 ・特定給食施設指導 ・地区組織の育成・活用、その他関係機関・団体との連携状況 ・食環境整備 ・健康危機管理 (事後に行うこと) ・実習ノート、実習週報告書の提出 ・実習報告会(反省会)						
備考	臨地実習Ⅲは、次の項目を充足していなければ履修できません。 ① GPA 値が1.5以上かつ3年後期終了までに開講される科目の修得単位数が90単位以上であること。 ②公衆栄養学Ⅰ、公衆栄養学Ⅱ、栄養総合演習Ⅰを履修していること。						